

平成 25 年度当初予算 施策別取組概要

351 道路網・港湾整備の推進

(主担当部局：県土整備部)

35101	道路ネットワークの形成	(県土整備部)
35102	適切な道路の維持管理	(県土整備部)
35103	四日市港の機能充実	(雇用経済部)
35104	県管理港湾の機能充実	(県土整備部)

平成 27 年度末での到達目標

道半ばにある道路網・港湾の現状に対し、県内外との交流・連携に資する道路整備や、大規模地震発生への備えや柔軟な対応など、地域の新たな課題や県民の皆さんの多様なニーズに的確に対応する道路・港湾の整備が進み、道路・港湾が担うべき機能を強化・充実することにより、利用者の安全性と利便性が向上しています。

施策の数値目標

県民指標

目標項目		H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度
県民生活の利便性の向上や地域の経済活動等を支援する道路の新規供用延長	目標値	-	15.3km	60.6km		94.9km
	実績値	0.3km				

各指標の H23 年度数値は現状値

目標項目の説明

県内の高規格幹線道路や直轄国道、県管理道路の新規に供用した延長 (累計)

活動指標

目標項目		H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度
県内の幹線道路の新規供用延長	目標値	-	10.3km	40.6km		59.9km
	実績値	-				
舗装の維持管理指数	目標値	-	5.0 以上	5.0 以上		5.0 以上
	実績値	5.3				
四日市港における外貿コンテナ貨物の取扱量	目標値	-	20 万 TEU	22 万 TEU		26 万 TEU
	実績値	17 万 TEU ^{*1}				
県管理港湾の入港船舶総トン数	目標値	-	1,503 万トン (23 年度)	1,503 万トン (24 年度)		1,503 万トン (26 年度)
	実績値	1,503 万トン (22 年度)				

各指標の H23 年度数値は現状値

* 1 TEU : 20 フィートコンテナに換算したコンテナ貨物の量

進捗状況（現状と課題）

- ・ 地域と一体となった国などへの粘り強い働きかけにより、熊野尾鷲道路（ 期）の新規事業化や亀山西ジャンクションのフルジャンクション化、地域高規格道路磯部バイパスの新規事業採択が決定しました。さらに、県管理道路においては、防災面で緊急輸送道路整備（橋梁耐震対策も含む）道路防災対策を進めています。また、地域の実情に応じた道路整備を行うため、早期に事業効果が発現できる局部的な改良などの柔軟な対応について、その普及・拡大を図るための取組を行っています。道半ばにある道路網の現状に対し、道路利用者が安全・安心に通行でき、県内外との交流・連携に資するとともに、大規模災害等に備えた道路整備をさらに推進する必要があります。
- ・ 道路利用者が安全・安心に通行できるよう、道路パトロール等により発見された道路の損傷箇所への早急な対応を実施するとともに、路面性状調査を活用して舗装補修を実施しています。
- ・ 港湾利用者や地域の安全・安心を向上させるために、津松阪港（大口地区）および宇治山田港において、老朽化した港湾施設の補修工事を進めています。港湾は、県民生活の安全・安心の確保および地域経済の活性化、発展に不可欠なものであることから、今後とも港湾施設を適切に整備、管理、補修、更新することが必要です。また、大規模地震発生時の輸送路を確保するため、臨港道路の橋梁について、耐震検討・対策が必要です。
- ・ 四日市港では、臨港道路霞 4 号幹線について、天力須賀工業団地地先の橋梁下部工等の工事が進められるとともに、新たに川越町地内において工事着手されました。背後圏産業の国際競争力維持・強化を物流面から支えるための港湾施設や臨港道路の早期整備が必要です。

平成 25 年度の取組方向

県土整備部

- ・ 災害時の復旧・復興を担うとともに、式年遷宮を契機とした県内外との交流連携の促進に向け、平成 25 年度供用予定となっている紀勢自動車道や熊野尾鷲道路、第二伊勢道路をはじめ、県内の高規格幹線道路、直轄国道および県管理道路が一体となった道路網の早期整備をめざします。また、「新たな命の道」として地域の悲願でもある紀伊半島のミッシングリンクの事業化をめざします。このため、国などに強く働きかけ、関係機関と連携しつつ整備促進を図るとともに、これらにアクセスする県管理道路の整備を推進します。さらに、緊急輸送道路整備（橋梁耐震対策も含む）を、重点的かつ効率的に推進していくとともに、道路災害を未然に防止するため落石等の対策や交通安全対策等を実施していきます。
- ・ 道路の適正な維持管理のため、将来にわたって機能を充分発揮するよう、道路施設の長寿命化に向けて効率的かつ計画的に維持補修するとともに、式年遷宮に向け主要地周辺の修繕を行います。
- ・ 県管理港湾について、今後、更新を迎える施設が急増することから、維持管理計画に基づいて計画的に維持管理を行っていきます。また、物資輸送等の災害復興活動等に利用できるよう、臨港道路にある橋梁の耐震検討を進め、必要な箇所について耐震対策を行っていきます。

雇用経済部

- ・ 四日市港では、国道 23 号への環境負荷増大の回避、貨物輸送の定時性・即時性の確保、災害時のリダンダンシーの確保を図るため、臨港道路霞 4 号幹線の早期供用に向けて、事業主体の国と協力し、引き続き地元関係者や関係機関と協議を進めます。また、緊急時の物資輸送等に資する岸壁の耐震整備のほか、海岸保全施設や上屋の耐震補強を進めます。

主な事業

県土整備部

直轄道路事業負担金【基本事業名：35101 道路ネットワークの形成】

予算額：(24) 13,858,500千円 (25) 13,166,000千円

事業概要：国が行う道路事業に対して負担金を支出することにより、県内の幹線道路網の形成を促進します。

道路改築事業【基本事業名：35101 道路ネットワークの形成】

予算額：(24) 15,724,824千円 (25) 14,922,065千円

事業概要：地域高規格道路や幹線道路にアクセスする道路の整備に取り組み、県民生活の利便性、安全性の向上に寄与する道路ネットワークの構築を進めます。

道路維持修繕事業【基本事業名：35102 適切な道路の維持管理】

予算額：(24) 6,873,689千円 (25) 7,137,614千円

事業概要：道路施設の補修、補強を実施することにより、道路の走行性及び安全性の向上を図るなど、適切な維持管理を行います。

港湾改修事業【基本事業名：35104 県管理港湾の機能充実】

予算額：(24) 291,600千円 (25) 272,800千円

事業概要：港湾利用者が安全に利用できるよう、岸壁老朽化対策等を推進します。

雇用経済部

四日市港振興事業【基本事業名：35103 四日市港の機能充実】

予算額：(24) 1,999,662千円 (25) 1,975,985千円

事業概要：四日市港管理組合が行う岸壁の改良、護岸の改修および臨港道路の整備等の事業に対して負担金を支出することにより、背後圏産業を物流面から支える港づくりを促進します。